

## エネルギーを消費するだけの都市よ、さようなら。 TOKYOで、新しい街づくりがはじまった。

東京都中央区晴海五丁目。2020年には選手村に、そして2023年春には、自らエネルギーを作りマネジメントする新たな街、HARUMI FLAGへと生まれ変わる。

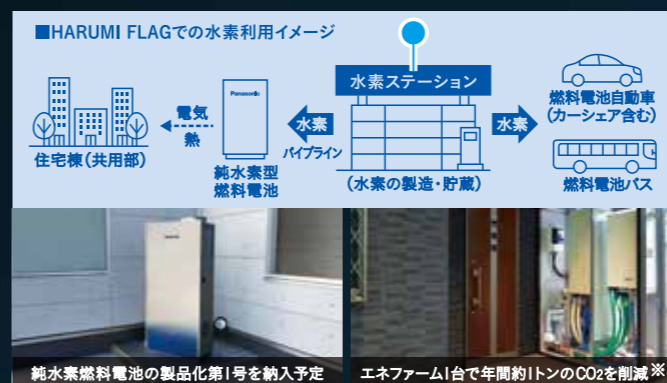
### 日本最大級の都市開発に求められたもの。

それは、便利で快適だけでなく、持続可能な暮らしを実現する世界最先端の都市モデル。その中心となったのは、CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンエネルギー「水素」と、各家庭から街全体までのエネルギーマネジメントでした。東京の真ん中、晴海五丁目地区に生まれるこの街には、日本初<sup>※1</sup>の水素インフラが整備されます。

### 「水素」を活用する街を、2020のレガシーに。

各家庭<sup>※2</sup>のエネファームが、都市ガスを改質して作り出した水素を利用して発電。省エネを可能にし、年間4,000トン以上のCO<sub>2</sub>を削減します。街では、純水素型燃料電池が、街灯や情報インフラ、セキュリティに電力を供給します。パナソニックの水素エネルギー技術が、便利で快適、持続可能な街の暮らしを実現していきます。

※1 エネルギー事業者が整備する本格的な水素インフラを利用したマンション共用部での水素エネルギーの活用は、実用段階では日本初となります。  
※2 分譲される全4,145戸にエネファームを設置（賃貸住宅を除く）。 ※3 数字は目安であり、実際の数値は使用条件等により異なります。



# 02

撮影：写真家 中野正貴  
カメラ：LUMIX S1R

無人の東京を捉えた「TOKYO NOBODY」をはじめ、「東京窓景」「TOKYO FLOAT」など、さまざまな東京の表情を記録しつづけている。

持続可能な社会と暮らしへ

パナソニックの水素エネルギー技術